イスラ ムにおけるイエス(2/3)

:

明:イスラ ムにおけるイエス: 第二部: イエスの神性とその使命に する 。

目: 事比 宗教イエス キリスト

より: M. Abdulsalam (IslamReligion.com)

⊞06 Dec 2009

集日 12 Dec 2009

イエスの神性

ムスリムは、神は 的唯一者であり、人 が有するような限界や欲求を超越した至高者であると信じます。神に同位者はなく、あらゆるものの 造主であると同 に、それらの 造物からは完全にかけ れている存在なのです。そして全ての崇 行 はかれのみへと向けられなければなりません。

これはイエスを含む、全ての神の 言者がもたらした同一の教えです。イエスは一度も自身の神性の主 、そして自らが崇 に するなどと主 したことはありませんでした。また彼は自身が "神の子"である、または "三位一体"の一部であると 言したこともありません。ただ逸脱したユダヤ人に して神のみを崇 させ、彼らを戒律に う真 の教えに回させるために遣わされた、神の忠 なしもべだったのです。イエスに して言及するクルア ンの 々の大半も、こういった 解を示しています。そしてそれらの 々は、人々が彼にして捏造した虚 をもとに、崇 の 象とされてしまったという事 を明 にします。それらはイエス自身が、自らが崇 に するという 利をはっきりと否定した彼の人生を 述し、また神が提示した例えが彼の不死性や神性、そして神の御子であることを否定しているという 解を支持しているのです。神はクルア ンの中で、イエスに してこう述べています

また神は、イエスが"三位一体"の一部であるという信仰に してはこう述べています・

また、次のようにも述べられています:

そして神は、かれを冒 するそのような信仰を、大罪と なします:

イエスは 判の日に、この虚 の主 が っていることを自ら 言するでしょう。神は彼に、なぜ人々が彼を崇 したのかと します。そして神はその受け答えの一部を、次のように明らかにしています:

これらの 々で、神はイエスを'神の子'、または'三位一体の一部'として崇めることは、深刻で重大な冒 であると宣言しています。というのも神は唯一 二であり、本 的にその 造物とはかけ れており、そして独自の神性と性 、そして主 を有しているからです。これら全ては神が 典において 示した 格な一神教の教えであり、それは十戒の中にも めることが出来ます:

神に子供を配することは、かれが造し、 言者を遣わせた原 に相反します。神はクルアンの中でこう述べられました:

"????????????????????????????? 51?56?

また、かれは述べられました:

イエスの使命

前述したように、クルア ンはイエスが 言者であり、それ以上の存在ではないという事を明 にしています。 言者が 造物の中において最良の地位を占めており、神が 示を下すために び いた者たちであることに はないのですが、その一方で彼らは神の使徒に ぎず、崇 を受けるには しないのです。クルア ンで述べられているように、イエスもその例外ではありません。

尚イエスはクルア ンの中では 始、モ ゼと他の 言者の教えから逸脱したユダヤ人に遣わ された神の 言者という描写をされています。

マリアの子、イエス キリストは一 のユダヤ人に遣わされた 言者の最 の者でした。彼は モ ゼの律法であるト ラ の教えに って生き、同じことを彼の弟子たちに きました。マタ イの福音 5: 17 18において、イエスはこのように っています:

"私が来たのは律法や 言者を するためだと思ってはなりません。 するためではなく、 成就するために来たのです。あなた方に告げます。まことに、天地が びうせない限り 、律法の中の一点一画でも してすたれることはありません。全部が成就されます。" この 点から、彼の教えは神のみへの崇 と、かれの戒律を守るよう いた 去の 言者のもの と何の わりもないことが分かります。神の奇 によって支えられた彼の受胎、 生、幼少期、そしてその生涯においてもたらされた 々な奇 などによって、彼は神の 言者である ことを 明されました。しかし、ユダヤ人の大半は、彼の 言者性を否定しました。

またイエスは彼以前に 示された 典の存在を しただけでなく、彼の に れるもう一人の 言者についても予告をしました。神はこう述べています:

この事 は新 でも言及されています。そして 密な研究により、イエス(彼に平安あれ) 自身もその 言者について述べていたことが明らかになっているのです:

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/30

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。